

令和8年度

第2学年 学年懇談会



令和8年4月16日（木）

場所：第1多目的室（北棟4階）

小牧市立岩崎中学校

★ 学年懇談会プログラム ★

- ※ 始めの言葉
- ◎ R8年度修学旅行積立集金について
 - 1 第2学年担当職員自己紹介
 - 2 学年教育目標について
 - 3 生活について
 - 4 学習について
 - 5 自然体験学習について
 - 6 職業人体験について
- ※ 年間計画
- ※ 質疑応答
- ※ 終わりの言葉

2、令和8年度 第2学年 学年教育目標

(1) 小牧市立岩崎中学校 教育目標

- 本校の教育目標 『**志に生きる**』
- 目指す生徒像
『未来を拓く、心豊かで、たくましい生徒』を踏まえ、以下のように学年目標を設定する。
- 日々の授業で目指す生徒像
『粘り強く学習に取り組み、協同して探究する生徒』を踏まえ、以下のように学年目標を設定する。

<学年目標>

- 穏やかで温かい関わり・つながりの中で目標達成に向けて主体的に行動することができる生徒の育成
- 自分自身について知り、自分の生き方を主体的に考えることができる生徒
- 「岩崎中学校で良かった」と卒業を迎えられる生徒の育成

(2) 経営方針

- ① 子どもの幸せを願い、とことん寄り添い、とことん勝負できる教師集団。
- ② 教師・学級の特色を生かしつつ、学年として同じ目標に向かって指導にあたる。
- ③ 教師・生徒共に、「学ぶ集団」であることを意識して学校生活を送る。
- ④ 授業・学級活動・行事など様々な場面で、生徒と関わりを重視し、温かい人間関係に基づいた生徒指導を行う。

(3) 重点努力目標

- ① 生活指導面
 - ・ 生徒との温かな人間関係を保ちつつ、それぞれの個性や家庭環境などを考慮し、中学生として望ましい生活態度を身につけさせる。
 - ・ きまりの必要性を考えさせ、自らきまりを守ろうとする態度を身につけさせる。
 - ・ 人と関わる場合に必要な礼儀・マナーの体得にも十分な指導を行う。
 - ・ 保護者との連絡を密に行い、生徒についての把握や問題の早期発見、早期解決を図る。
 - ・ 話し合い活動や行事などを通して予防的生徒指導を積極的に進める。
 - ・ 「教師の個性」を生かし、いろいろなアプローチで指導にあたる。
- ② 学習指導面
 - ・ 日々の授業を大切に、「わかる喜び」「わかろうとする意欲」が多くの場面で見られるようにする。
 - ・ 基礎・基本を身につけさせるとともに、「知的好奇心」がくすぐられるような体験をさせる。
 - ・ 「聴き合う関係性を重視」したグループ活動などを通して、互いに学び、高めあう集団を目指す。
- ③ 特別活動
 - ・ 学級や学年への所属感・存在感を十分に持たせ、その一員として自らの責任を自主的に果たそうとする態度を育成する。
 - ・ 様々な行事や活動に自主的に取り組ませ、集団で一つのことをやり遂げたあとの「感動・満足感」を味わう。
 - ・ 授業とは違う一面を発揮させることにより、「新たな発見の場」とする。
- ④ 道徳指導
 - ・ 学校生活全般を通して、人権・人格を尊重し、他人を思いやることができる心の育成をする。
 - ・ 道徳心を育成するだけでなく、行動できる実践力を身につけさせる。
- ⑤ 総合的な学習の時間
 - ・ 人・自然・地域・社会との関わり深めるために、「自ら調べる→準備する→行動する→結果をふりかえる→次に生かす」を繰り返し、高い目標に達することができるようにさせる。
 - ・ My 探究を通して、自分自身を見つめ、自分が学ぶべきことは必要がなにかを考え、主体的に学ぶ姿勢を養う。
 - ・ 職業人体験学習では、働いている人や地域、社会とのつながりや働くことの意義を学ぶ。
- ⑥ 進路学習
 - ・ 自分の進路実現に向けて、努力することができる生徒の育成を目指す。
 - ・ 単なる進学・就職指導に終わらず、自分を見つめ、自分の将来(生き方)を考えさせる。

3 生活について

生徒たちの様子を見ていると、岩崎中学校で頑張っていこう、という気持ちに満ちている様子を感じます。今年度から3年間の中学校生活で一人一人が充実した日々を過ごし、さらにたくましく成長することができるよう、全職員で指導にあたります。

<目指す生徒像> 心を磨き続ける生徒

- 常識やルール、マナーとは何かを考え、大人になろうとする生徒
- 授業や家庭学習を大切に、学力向上に努める生徒
- 掃除や給食、係や当番活動など、日頃の生活を大切にする生徒
- 他に流されることなく、やるべきことや正しいと思うことを黙々と行える生徒
- 自分の将来に目標をもち、努力を積み重ねる生徒
- 人の気持ちを理解しようと努め、それに応えようとする生徒

(1) 岩崎中学校生徒心得

- ① 学校生活（岩崎中ノートP2）
登下校や欠席・遅刻・早退、持ち物等に関する記事を記載しています。
- ② 身なり（岩崎中ノートP2～3）
夏季は、白の開襟シャツ、カッターシャツまたは、白か黒の半袖ポロシャツとする。

(2) 心がけている指導について（主な指導のみ）

- ① 岩崎中学校の生徒としての自覚をもつこと
2年生に進級し、少しずつ自律していく過程です。岩崎中学校の生徒であるという自覚が今後の成長をさらに飛躍させることとなります。
- ② 生命と人権に関わることへの迅速な対応
アンテナを高くし、情報をキャッチしたら、直ちに動く体制。
- ③ 時間を守ること
8時20分までに昇降口通過
8時25分までに着席完了・読書や朝学習など開始
8時30分より朝の短学級開始
授業の3分前着席
給食は10分で配膳完了、最終下校時刻の厳守など。
- ④ あいさつをすること
授業の開始と終わりのあいさつ、廊下ですれ違う先生や来客へのあいさつなどは、さわやかに元気よく。
- ⑤ 整理整頓（下駄箱、ロッカー、机、トイレのスリッパなど）
特にロッカーからカバンやシューズ袋の紐などが出やすいです。教室の環境美化の面でもロッカーの整頓は心がけさせたいと思います。
- ⑥ 物の貸し借り禁止
貸したものが紛失した、破損した等の事故を防ぐためです。
- ⑦ 不要物の持ち込み禁止
学校生活に必要なもの以外はすべて不要物ととらえます。学校で預かる場合には、保護者の方に学校に来ていただき、説明させていただきます。
- ⑧ 毎日の課題への確実な取り組み
教科の課題を提出していなかったり、日々の家庭学習への取組が不十分であったりする場合は、その日の業後の時間を使って取り組ませることもあります。予

めご理解ください。家庭での学習習慣が身につけられるようにご協力ください。

(3) 学年としての4つの心がけ

- さわやかな返事、あいさつをすること
- けじめをつけること
- あきらめず、努力をすること
- 自分がやられて（言われて）嫌なことは、他の人にしない

(4) その他

ご家庭や地域での生徒の様子で気になることがある場合は、一声かけていただいたり、学校へ連絡していただいたりするなど、生徒たちを「ともに育てる」という観点からのご協力をお願いいたします。

小牧市立岩崎中学校【0568-75-2081】

平日 7:40~18:30 休日 原則、留守番電話

★上記の時間以外は、留守番電話になっていますので、ご注意ください。



4 学習について

目標・方針



- 1 授業を大切に、「分かる」「できる」という喜びをもつことができるよう取り組みませる。
- 2 目的意識（なんのために学ぶのか）をもたせ、自ら学ぶ態度を育てる。
- 3 学習習慣を身に付けさせ基礎学力の定着を図る。

(1)授業 ～教師も生徒も授業で勝負～

- 自分で解決しようという気持ちを大切にします。
- 落ち着いた雰囲気授業をはじめるために、チャイム前着席を大切にします。
- 4人グループで「関わる、学び合い、ふり返る」活動を取り入れた授業を工夫します。
- ICT 機器を有効に活用します。

(2)家庭学習 ～家庭学習で基礎学力の定着～

- 月予定表の計画に従い、1日1ページ課題に取り組みます。

月	火	水	木	金
国語	英語	国語	英語	数学

- ※ 4月22日(水)スタート→23(木)に提出。励ましの声かけをお願いします。
- ※ 2冊目以降は教科担当の指定するノートを各自購入してください。
- 5教科の入試問題集(新研究)を1日1教科ずつ取り組みます。(3学期)
- ※ 11月頃に入試問題集の購入について、お知らせをします。



力をつけさせるために・・・

★教員の心がけ★

- 担任が、提出管理(100%提出目標)し、学年職員全員で声かけします。
- 内容を充実させるために、頑張っているや工夫している生徒のノートを紹介します。

★保護者の皆様におねがい★

- 1日 2 時間以上の学習習慣を目標とさせていただきます。
- 必ず期限までに提出するよう、声をかけてください。

- 各教科からも宿題がでます。月予定表には記載されていませんが、授業中に教科担当が連絡をします。学力向上のために厳選した課題になります。こちらも、ご家庭での確認をよろしくお願いいたします。

例 国語・・・漢字テストの勉強、音読 数学・・・ワーク、問題プリント 社会・・・ワーク
理科・・・ワーク 英語・・・授業の復習プリント、ふりかえり記入、英単語テストの勉強、

音読

「分かる」から「できる」に変えていくためには、ご家庭での学習が必須です。

ともに連携し、お子様の力を伸ばしていきましょう。

(3) 学習コンクール

基礎的な問題が解けるように5教科の中から1教科テストをします。
全員が合格を目標として、事前にプレテストを行っています。

(4) 定期テスト ～PDCA サイクルでステップアップ！～

中学校には、大きなテストが年に4回あります。テストは国社数理英を基本とし、期末テストでは保健体育と技術家庭のテストも行います。テストの結果、自分が学年で何位だったのかもわかりますが、これらのテストでは、順位の上下に一喜一憂するのではなく、**学習の定着の度合いを知ることで、自分の学習のしかたを見つめ直すきっかけ**にしてほしいものです。



- **テスト計画表**・・・テスト週間前からテストに向けての勉強に取り組ませます。学習内容・量などに応じて生徒自身が学習計画を立て計画的に勉強するようにします。
- **テスト週間**・・・部活動も学年課題もない期間です。自分で計画を立てて勉強に取り組む姿勢を持つことが重要です。やらされているのではなく、自分からやるという気持ちでテストに臨まないでと学力はつきません。
- **テスト当日**・・・各教科の問題集やノート、ファイルなどの提出があります。テストの結果にも評定にも大きく影響が出ますので、必ずやり遂げ、必ず提出するという気持ちを持つことが必要です。

○ 日程

	期日
第1回定期テスト	6月17日(水)、18日(木)、19日(金)
第2回定期テスト	9月17日(木)、18日(金)
第3回定期テスト	11月16日(月)、17日(火)、18日(水)
第4回定期テスト	2月15日(月)、16日(火)

課題確認テスト 9月2日(水)5教科



(5) My 探究について

昨年度から、小牧市で「探究の時間」が設置されることになりました。自ら主体的に学ぶために、「知りたい」「学びたい」と思う個々の課題を設定する時間を設け、計画を立て、他者と協働しながら、探究活動を行う時間です。

最後に・・・

中学校では、常に卒業後を意識し、確かな学力が身に付くよう授業を進めていきます。卒業後、進路選択の幅が広がるように学力の定着を図ります。毎日課題もできます。忙しい日々の中、ちょっと一緒に見ていただけ、気にしていただけだけで、子どもたちの励みにもなると思います。ご協力、よろしく



5 自然体験学習について

(1) 目的

- ① 集団生活を通して、仲間を思う心や学年・学級のつながりを強める。
- ② 学校生活で行っていることを自然体験学習の中でもあたり前に実践しようとする態度を身につける。
- ③ 学校でできない体験を通して、生きる力を身につけ、日常生活に生かす。

(2) 期 日 令和8年5月26日(火)～5月28日(木)

(3) 宿泊先 代表民宿「千鳥」 住所 愛知県西尾市一色町佐久島西屋敷3
TEL 0563-79-1008

(4) 費用 生徒1人あたりの費用 27,000 円程度(1年次の集金で積立済み)

(5) 日 程 ※ 変わる場合があります。(生徒配布のしおりが最終確認になります。)

一日目	学校集合8:30～8:50(お弁当の準備をお願いします) 9:15 出発 → 11:00 一色港着 → 11:30 一色港発 → 11:55 佐久島西港着 → 12:20 入島式 → 12:45 昼食 → 13:45 学年レクリエーション → 14:45 島内散策① → 17:00 入浴・夕食 → 20:00 オーナーさんと交流会 → 21:15 反省会・荷物整理 → 22:00 就寝
二日目	6:30 起床(朝食・朝の集い) → 8:30 学級レクリエーション → 10:15 島内散策② → 12:30 昼食 → 13:30 島内散策③ → 17:00 入浴・夕食 → 21:30 反省会・荷物整理 → 22:00 就寝
三日目	6:30 起床(朝食・朝の集い) → 7:40 各民宿での清掃活動 → 9:15 地引き網体験 → 10:00 奉仕活動 → 11:45 昼食 → 12:35 退島式 → 14:40 佐久島東港発 → 15:10 一色港着 → 15:25 一色港発 → 17:00～17:30 3つのルートで分散降車・帰宅

自然体験学習を健康に過ごすために ～ 保護者の方へ ～

健康で楽しい自然体験学習になるよう、日頃から規則正しい生活や十分な睡眠、食事に心がけさせてください。ご家庭におかれましては健康管理にご留意いただき、持病のある場合や体調の悪い場合は、必ず主治医の診断を受け、薬を用意する等準備をお願いします。

(1) 緊急時の医療機関受診について

自然体験学習中、急なケガ等があった際には、医療機関を受診する場合があります。医療機関の受診が必要となった場合に備え、下記のいずれかをご準備ください。

① マイナ保険証の利用登録がある方

医療保険の資格情報（マイナポータルよりダウンロード）または、資格情報のお知らせ（各保険者より発行）

② マイナ保険証の利用登録がない方

資格確認書（各保険者より発行）

医療機関を受診する際は、上記のいずれかと「子ども医療費受給者証」をFAXで送っていただきます。愛知県内の診療は、子ども医療費の対象になります。

※ 緊急時等には、保護者の方に連絡をとる場合があります。

(2) アレルギー・薬の持参について

食物アレルギーで食べられない食品や、薬のアレルギーについては、必ずお知らせください。変わりのメニューや除去食など、アレルギー対応が必要な場合は、医師による「学校生活管理指導表」が必要です。対応が必要な場合はお知らせください。

【主な食事】（予定が変わることもあります。決まりましたらお知らせします。）

魚介類、刺身、煮魚、焼き魚、タコ、大アサリ、アサリ、シジミ、からあげ、エビフライ、揚げ物、ハンバーグ、カレーライス、味噌汁、ゆで卵、野菜、果物（バナナ、オレンジなど）

※ いつも服用している薬は忘れないように持たせてください。（自己管理です。）

アレルギーの薬、酔い止め、皮膚の塗り薬、腹痛や頭痛の時の薬 など

◎自然体験学習：佐久島の自然対策

☀晴天（気温上昇） 帽子（必須）、日焼け止め、水筒（水分）、汗ふきタオル

☔雨対策（豪雨） カッパ（必須）、傘等

★寒暖の差 体操服の他、長袖、長ズボン等（調節できるように）

◎アウトドア 🦋 はきなれた運動靴、軍手、かかと付きサンダル（クロックスOビーチサンダルは×）
虫よけ、虫さされの薬

◎乗り物（バス・佐久島への船）→ 心配な人は酔い止め薬を

◎アレルギー対策 食物、花粉（樹木や雑草）動物（犬・ネコがいます）

※詳しくは後日配付するしおりをご確認ください。

(3) その他

- ・ 事前健康診断（内科検診）は、4月27日（月）に行います。結果については異常の疑い等が認められた場合のみお知らせします。
- ・ 気になることや心配な事がありましたら、担任までお知らせください。

6. 職業人体験について

1 目的

- ・ 職業について調べ、体験することによって、自己の興味関心や適性について真剣に考えるきっかけにする (自己理解)
- ・ 働く人々の様子を間近で見たり、実際に仕事を体験したりすることで、学校の中で学ぶことのできない社会の仕組みや仕事の実際、大変さややりがいを肌で感じる (社会性)
- ・ 職業人体験を通して得られた学びや気づきをもとに、将来の進路について主体的に考える意欲を高める (進路選択)

2 日時

令和8年12月8日(火)～10日(木) 3日間

3 事業所数

55ヶ所の事業所に依頼予定

4 今後の予定

11月上旬	体験する事業所の決定、代表者の選出
11月中旬	各生徒の職場への事前連絡(電話による)
12月上旬	生徒による事前訪問(個人懇談会)
12月9日(火)～10日(木)	職業人体験学習
12月下旬	お礼状の作成、学習のふり返し

5 事前の取り組み

<学級活動>

- (1)職業人体験について ※ 事前に職業人講話などの研修会を持つ(外部講師)
- (2)職業人体験の希望調査

<総合的な学習の時間>

- (1)職業とは何だろう (2)職業について調べよう
- (3)あいさつなどの礼儀について (4)手紙の書き方 (5)レポートのまとめ方

<道徳>

- (1)勤労 (2)社会奉仕 (3)礼儀 (4)感謝 (5)思いやり など

6 諸注意

- 事業所によっては、自転車を使用します。(自転車の有無などを考慮して、事業所を決定します)
- 体験当日に体調不良等で活動が困難になった場合は、保護者の方に事業所までお迎え頂くこととなりますので、何卒よろしくお願いします。